

# 8.20 反核・平和まつりひらかる

## 日刊 勤労千葉

82. 8. 23

No.1128

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五〇六(会衆)四三三二七二〇七

8月20日夕、千葉市中央公園で「反核平和まつり」が開催されました。主催は、県労連青年協の中軸を担う勤労千葉をはじめ、千教組、全通、全電通、日通、千葉市職、キョコマン労組等の青年部・婦人部で結成した実行委員会。フォーク・ロックコンサート、コーラス、テーチイン、平和ソングのど自慢、詩の朗読、原爆写真パネル展、平和運動を進める諸団体からの挨拶・提起、青年労働者としての決意など、多彩なプログラムに一般市民の多くも足をこめ、パネルに見入り、ロックに聞き入るなど、盛況のうちに終了しました。

野外でのこのような集会は千葉市内では始めて。又、県下労組青年部の共闘・連帯という意味でも大きな意義をもっていきます。

参加者全体で、この火を絶やさず、今後も更に拡大・充実させていこう、と確認し合いました。

→ 退職者婦人協議会に結集する元教育労働者は、自らの戦争体験、教えるを戦場に送った反省、戦後の教育労働者の闘いに力を入れ、教科書検定に怒りを注ぎつけた。

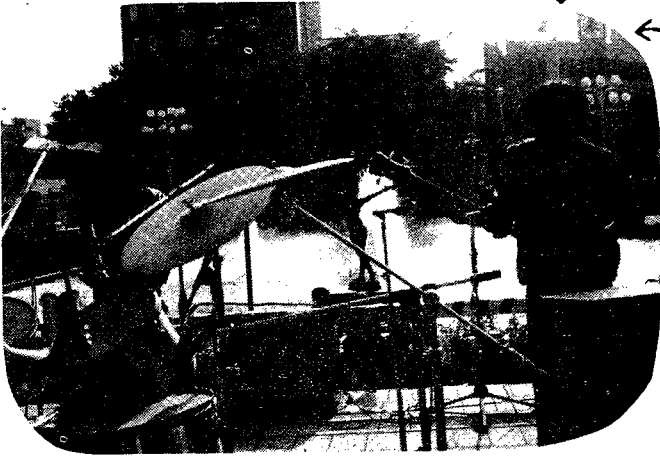


↑ 全電通青年婦人会議は、全員で反戦コーラスをうたった。



← 日没と共に、参加者が増え、公園内にはりめぐらした「原爆パネル」は、多くの市民の目を引きつけた。まつりも盛況に入ると、全一の単産単組がとけ合っ、飲み物片手に、あちこちに談笑・交流の輪が広がる。

＝ 熱唱! ＝



← 千葉市一番の繁華街にある中央公園では、まだ暑い夏の日さしの中で、ロックの熱波から、汗を落とした。



← 「去年まで、広島で仕事していた。千葉でこんな催があるなんて、一通りがかりだけど私にも、一曲、歌わせて下さい」と、中年の男性のとび入り。反戦歌を一曲披露し、拍手を浴びた。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!